

平成28年2月22日

**(公社)全日本トラック協会青年部会 社会貢献活動に係る  
豊国学園高等学校への整備実習用トラック寄贈について**

(公社)全日本トラック協会青年部会(笠原史久部会長)は、2月22日(月)、福岡県北九州市の学校法人豊国学園 豊国学園高等学校(小南智誠校長)で整備実習用トラックの寄贈式を行った。

整備実習用トラックの寄贈は、平成28年1月25日(月)の飛龍高等学校(静岡県沼津市)に続き2校目となる。

整備実習用トラックの寄贈は、昨年5月、笠原部会長が全国の自動車専門課程を有する高等学校で組織する全国自動車教育研究会(全自研)理事会に出席し、青年部会の社会貢献活動の一環として提案したもので、今年度は全自研から希望のあった飛龍高等学校(自動車工業科)、福岡県北九州市の豊国学園高等学校(自動車科)の2校に青年部会各ブロック大会会場などで集めた募金を原資に小型中古トラックを購入し、寄贈している。

22日に行われた豊国学園高等学校への寄贈式では、全日本トラック協会青年部会より平島竜二副部会長と九州ブロック代表の永井雄大郎副部会長、福岡県トラック青年協議会の富田剛生代表幹事らが出席。

寄贈にあたり、平島副部会長は「トラックを実習に使用していただき、トラック運送業界のことを理解していただきたい。」と挨拶を行った。

寄贈を受け、同校の小南校長は「実車に直接触れることで、生徒たちは興味や関心が湧き、理解が深まる。生徒たちが自動車産業で活躍できるよう私たちも力を尽くしたい。」と謝辞を述べた。

青年部会では、28年度も引き続き車両寄贈などの社会貢献活動を行って行くこととしている。



挨拶をする平島副部会長



寄贈を受け謝辞を述べる同校 小南校長



寄贈式の模様



寄贈式の模様

以上